

秋田市ホームページで市長の動向や記者会見の内容などをお伝えしています。
<http://www.city.akita.akita.jp/>

市長のほっぺコラム

市長 佐竹敬久



中国・蘭州市訪問

先日、本市と友好都市の間柄にある中国・蘭州市を公式訪問しました。

今回の訪問は、今後の交流方針と二年後の友好提携二十五周年事業について協議・合意するためのもので、心温まる歓迎を受けました。この三月に就任されたばかりの温厚な雰囲気張津梁市長さんは、秋田市側が当番となる二十五周年にはぜひとも本市を訪問したいということでした。

足かけ三日間という短い滞在でしたが、何か所かの視察もできました。

一つ目は、かつて黄河の水を活用するために考案された直径十メートルを超える中国式水車をテーマとした河畔公園です。黄河河畔の全長四十キロという壮大な計画で進められており、関係者は歴史と自然の融合による新しい蘭州市の名所にしたいという大変な意気込みで説明してくれました。

二つ目は、中国ならではの七という広大な敷地面積で児童数一、四六一人の東郊小学校という名門小学校です。可愛いきいきとした表情の歌や舞踊の歓迎を受け、習字や水墨画の実習風景も見せてもらいました。



校長先生の竿燈の半纏姿に子どもたちは大受け...東郊小学校で

が、その水準に驚くとともに、中国でも日本と同様に、我が子を放課後には塾やピアノなどのお稽古ごとに通わせるのが普通になってきているという話を聞き、いずこの親も同じだなと思っただけです。

三つ目は、蘭州市立の第一および第二人民医院という総合病院で、ここではまさに熱烈歓迎を受けました。長年にわたり本市が蘭州市からの医療技術研修生を受け入れてきた結果、

その医師たちが院長をはじめ病院幹部の多数を占めるようになっており、実際の手術中の手術室や三年前に完成したICU(集中治療室)、病室などのほか、ビデオなどで数多くの臨床事例も見せてもらいました。

蘭州市の医療技術水準が中国国内でトップクラスにあるというのは、秋田市での研修によって得られたものにほかならず、多くの蘭州市民がその恩恵を受けているという感謝の言葉を聞き、地味だがこれが地に足を付けた本当の自治体交流ではないかという感を強く感じました。

最後に、帰途に立ち寄った北京の国立農業博物館での話をひとつ。

売店に行ったら、流ちょうな日本語を話す若い女性店員がいて、ウーロン茶の効能や飲み方をユーモアを交えながらあまりに上手に話すので、「素晴らしい説明ですね!」と言ったところ、「買ってもらうって、はじめて素晴らしいということね!」と言いつつ返され、一行「ギヤフン」。

結果は、おみやげ袋いっぱい各種ウーロン茶と相成りました。



西部地域市民サービスセンター ワークショップ発表会

みんなで考えた センターの青写真

今年7月から、地域のみなさんと市の職員がワークショップ(話し合いの場)を開き、「(仮称)西部地域市民サービスセンター」の機能や活用方法を考えてきました。10月8日、その意見発表が行われ、3つに分かれたチームの代表が「世代間交流」「子育て機能」などをキーワードに、それぞれが思い描くセンター像を発表しました。

センターの機能として、どのチームでも取り上げていたのが“地域防災機能”。その役割を果たすため、「避難場所にもなる広いスペースを確保」「災害用食糧の備蓄」などの案が出されました。

また、発表では、「一日センター長を採用して住民が入りやすく」「おしゃべりの場として親しまれるように」などといった声もあり、ワークショップに参加したみなさんの、地域に対するあたたかい、そして熱い思いが伝わってきました。

地域防災の視点からも検討



地域のかたがたも多数参加
(会場の秋田公立美術工芸短大で)

話し合いの過程を大事に

いよいよ次のステップへ！

西部地域
市民サービス
センター

建設基本計画の ワークショップ参加者を募集

西部地域市民サービスセンターの建設基本計画の策定に向け、新たなワークショップの参加者を募集します。今回は、秋田大学の木村一裕教授の指導のもと、3つのテーマごとにチームをつくり、話し合いを進めていただきます。ぜひご参加ください。

- テーマ** (1)センターの建物(施設機能の配置や維持管理など)
(2)センターの管理(利用形態のあり方や運営方式など)
(3)地域をまとめる組織づくり(結成の考え方、組織の役割など)
- 対象** 市内にお住まいで、来年3月まで10回程度(月2～3回、午後7時から9時ころまで)のワークショップに毎回参加できるかた
- 定員など** 定員は60人。第1回は、11月22日(火)午後7時～8時30分、秋田公立美術工芸短大の大講義室で開催します。報酬はありません。交通費などは自己負担となります

申し込み 住所、氏名、年齢、電話番号、参加したいテーマ((1)～のうち、第2希望まで)を書いて、ファクス、はがき、Eメールのいずれかで、11月11日(金)までお申し込みください。
〒010-8560 秋田市役所 市民協働・地域分権推進室
tel(866)2037 ファクス(866)4930
Eメール ro-plcc@city.akita.akita.jp

しあわせづくり市民意識調査

アンケートの回答は
11月4日(金)までに
お願いします

「秋田市しあわせづくり市民意識調査」の調査票を、無作為に選んだ市民1万人のかたへ10月19日にお送りしました。

調査票は、同封した返信用の封筒に入れ、11月4日(金)までポストに入れてください。

みなさんの思いは、秋田市の新しい総合計画をつくるための大切な資料となります。ぜひご協力をお願いします。



問い合わせ 企画調整課 tel(866)2032